

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	閉塞性黄疸を伴う膵がんと診断され、かつ手術が企図される患者			
② 研究課題名	閉塞性黄疸を伴う手術企図膵がんの ERCP 不成功時における胆道ドレナージに関する後ろ向き検討			
③ 実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2022 年 6 月			
④ 実施機関	静岡がんセンター			
⑤ 研究代表者	氏名	新谷文崇	所属	内視鏡科
⑥ 当院の研究代表者	氏名	新谷文崇	所属	内視鏡科
⑦ 使用する検体・データ	採血データ・内視鏡データ・病理データ・臨床経過			
⑧ 目的	手術企図膵がんにおける術前胆道ドレナージには ERCP が第一選択とされており、ERCP 困難例においては経皮的胆道ドレナージ術(PTBD)が選択されてきた。PTBD は外瘻による QOL の低下も問題となる。一方で、切除不能悪性胆道閉塞においては、EUS 下胆管ドレナージ(EUS-BD)は PTBD と比較し臨床的成功率が高く、ERCP 困難時には EUS-BD が行われるようになってきた。膵がん切除例の PBD において EUS-BD を行った報告は少なく、ERCP 不成功時に EUS-BD が PTBD の代替法となるか、手術への影響についてエビデンスは乏しい。よって閉塞性黄疸を伴う切除企図膵がん患者において PTBD と EUS-BD を比較検討することを目的とした。			
⑨ 方法	対象は EUS-BD 8 例、PTBD 10 例を対象であった。それぞれの郡において、技術的成功率、臨床的成功率、胆道ドレナージ関連偶発症、閉塞率、手術関連偶発症を検討した。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022 年 4 月 14 日		
⑪ 公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬ 知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭ 利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮ 資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯ お問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長